

## せとまちトーク進捗管理シート

八幡台 連区

テーマ

## 古くなるインフラ施設

## 課題・問題点の背景・理由

- ・子どもが安心安全に過ごせる所になれば、若い人が入って来れる
- ・まちが美しくなる事により住みたい場所になる
- ・安心安全感が薄れる
- ・古い施設に無関心
- ・見た目での古さを感じる
- ・若い人が住みたくなくなるまち
- ・きれいなまち住みたくなくなるまちに

## 解決手法

【行政】

- ・愛知県との密な連携
- ・計画的な改修工事
- ・ガードレールを市によって取り替える
- ・道路、歩道の整備

【地域】

- ・一体となった地域美化活動
- ・古いインフラを見て回り申し入れる
- ・活動できない事を公表する

【その他】

- ・近隣市と比較
- ・県(公団)にきれいにするよう申し入れる
- ・きれいになったところをPRする

## 関係する常任委員会

都市活力委員会

## せとまちトーク後の経過、及び調査検討結果

## 市の見解

・安心安全のまちづくりについて、市は今後の中長期計画において①外周道路などの駐車環境の改善②回廊式歩道橋などの整備③防犯灯などの施設整備④緑地などの環境整備・活用・景観形成の4点を掲げ、公表もしている。

・美化活動においても域内の草刈りを積極的に進めるとともに、花の植え込みを造成する計画も進めている。古い施設については、順次建替え、改修などが必要になるものと思われるが、市は活用を促すための計画づくり、情報発信に努めていくとしている。

・ガードレールの取り換えや道路・歩道の整備は地元自治会などの要望によって進める。

・県との連携については「菱野団地再生計画推進協議会」への参加をはじめ、計画に基づく要望は市としても積極的に行っている。

・若い人が住みたいと思えるまちとするためには、古い考え方の踏襲や行政のお仕着せではなく、現役の若人の意見提案を聞き取り、取り入れていく必要があると認識している。現在近隣大学(南山大・名城大・愛工大など)のまちづくりをテーマとした学生にも協力をもらい、活動拠点整備や情報発信に取り組んでもらっている。

・見た目の古さについては、現在原山台7丁目の高層の建て替えが完了し、2丁目の建て替えが進められており、八幡台4丁目での建て替え計画が進行中で、県は今夏に計画の住民説明会を始めたいとしている。

## 【補足】

菱野団地再生計画については委員会の調査研究テーマであるため、引き続き注視していく。